

卒業必修	保育士必修	幼稚園教諭必修	選択
授業科目名： 教育実習（幼稚園）Ⅰ ナンバリング：2809	教員の免許状取得のための 必修科目	単位数：1単位 （通年）演習	担当教員名： 持田京子、花島慶子 担当形態：クラス分け
科目	教育実践に関する科目		
施行規則に定める 科目区分又は事項等	教育実習		
<b>授業の到達目標及びテーマ</b> 1. 事前指導において、教育実習生として幼稚園の教育活動に参画する意識を高め、教育者としての愛情と使命感を深めることができる。 2. 教育実習後には、教育実習を経て得られた成果と課題等を省察するとともに、指導教員のもとで積んだ知識や技能等について理解を深め、実習の意義を考察できる。 3. 自己の能力や適性を考えるとともに、教員免許取得までに習得すべき知識や技能等について理解することができる。			
<b>授業の概要</b> 本授業は幼稚園教育実習における観察・参加・責任実習という方法を含めて教育実習生として遵守すべき義務及び責任について自覚し、意欲的に教育実習に参加するための授業である。基礎的な理論と方法を学び、クラスの補助的な役割や教員として相応しい指導方法を身に付ける。実習後は、得られた知識や経験を振り返り、まとめて発表することで実習の意義を理解し、さらに必要な指導方法及び知識や技能についての理解を深める。			
<b>授業計画（事前授業）</b> 第1回：幼稚園教育と幼稚園実習の意義についての理解 第2回：園の経営方針及び特色ある教育活動 第3回：実習にて遵守すべき事項と責任及び安全について 第4回：幼稚園環境に対して適切な観察と記録の取り方 第5回：学級担任の補助的役割について 第6回：視聴覚教材などを用いた保育とその方法 第7回：幼児の発達段階や、園環境を踏まえ、ねらいを持った部分及び責任実習指導案の立案 第8回：保育に必要な基礎的技術（話法・保育形態・保育展開・環境構成などを実地に即して身に付ける）		<b>授業時間外の学習</b> ・実習校の園環境や方針（調書作成）・実習を受けるにあたって遵守すべきことや責任の確認（オリエンテーション依頼）・保育の観察方法と日誌の記録の取り方・教材や教具の活用法・問題発生時の対処法、安全管理、安全教育・季節や行事を踏まえた指導案（巡視用地図作成）・幼児の発達に即した指導案・保育に必要な技術獲得と発表（1時間）	
<b>（事後授業）</b> 第9回：教育実習で得られた成果と課題の話し合い 第10回：日誌を見てエピソード記録などを出し合い 第11回：園での実習評価を理解し、幼児教育への意欲を高める。 第12回：園での実習評価を踏まえて更なる課題を模索する。 第13回：実習を総合的に振り返り実習園へ感謝の気持ちを持つ。 第14回：実習の成果と課題を後輩に伝えるようにまとめる。 第15回：実習の成果と課題を後輩に伝え、自らの学びを深める。 定期試験：パワーポイントを作成し、実習の成果と課題を発表する。		・日誌や指導案を用いて自らの実践を振り返る。（1時間） ・園の評価を聞くことで、新たな課題を見出す。（お礼の手紙）（1時間） ・実習を振り返り、成果と自己課題をまとめる。（1時間） 実習の成果と課題を発表する。（1時間）	
<b>授業の方法</b> 講義。演習。提出された指導案についてフィードバックを行う。実習園からの評価をもとに個人面談。			
<b>テキスト</b> 『平成29年告示幼稚園教育要領・保育所保育指針・幼保連携型認定こども園教育・保育要領』 文部科学省・厚生労働省・内閣府 チャイルド社、『実習の手引き』埼玉純真短期大学			
<b>参考書・参考資料等</b> 適宜配布			
<b>学生に対する評価</b> 授業参画(30%)、レポート(30%)、模擬授業及び指導案などの提出物(40%)			
<b>履修上の注意</b> 本授業は幼稚園教育実習に行くための「事前授業」とそれらを振り返る「事後授業」である。幼稚園実習（前期・1週間）（後期・3週間）とも事前、事後指導を必ず受けること。			
<b>実務経験の有無</b>	有	<b>実務経験</b>	持田：元幼稚園勤務、保育所巡回指導員
<b>実務経験を活かした教育内容</b> 持田：幼稚園勤務、公立保育所、私立保育園の巡回指導員の経験を活かして、保育者に求められる基礎的な知識と技術、現代社会における幼稚園教諭の課題、クラスづくりなどを学生が具体的に考え、実践、評価できる授業を行う。			